授 業 科 目	装具学Ⅳ（上肢装具）		
教 育 内 容	専門分野	応用義肢装具学	
担 当 教 員	那須祐介、吉岡久恵、高嶋孝倫、田口真哉（手外科領域）		
学 年	3	単 位 数	3
開 講 時 期	前期 手外科領域は後期	時 間 数	講義 30 時間、実習 90 時間

■ 授 業 概 要

上肢装具を必要とする疾患や障害について、パソメカニクスと装具の機能について履修する。実習では、静的装具として手関節背屈保持装具、対立装具、動的装具として伸展補助装置を製作し、その機構を履修する。自主的な知識の習得を目的としたセミナー形式による演習を取り入れる。

■ 到 達 目 標

- 1) 上肢装具の適応と機能について理解する。
- 2) 上肢装具を使用した装具療法について理解する。
- 3) 条件どおりに上肢装具を製作できる。

■ 授 業 内 容

第 1-4 回	講義：オリエンテーション、総論、手関節装具 実習：手関節背屈保持装具（採型、陽性モデル作製）	
第 5-8 回	講義：手の構造と機能 実習：手関節背屈保持装具（陽性モデル修正）	
第 9-12 回	講義：手の知覚と神経支配、機能解剖 実習：手関節背屈保持装具（プラスチック成型、トリミング）	
第 13-16 回	講義：軟部組織損傷、上肢装具の分類、上肢装具のメカニクス 実習：手関節背屈保持装具（仕上げ、評価）	5 月 9 日 小テスト
第 17-20 回	講義：対立装具 実習：短対立装具（型紙作成、金属切り出し）	
第 21-24 回	講義：指装具 実習：短対立装具（金属切り出し、曲げ加工）	
第 25-28 回	講義：MP 関節、屈曲補助装具 セミナー：①橈骨神経麻痺と装具、②正中神経麻痺と装具 実習：短対立装具（組み立て）	
第 29-32 回	講義：母指の装具 セミナー：③尺骨神経麻痺と装具、④頸髄損傷と上肢装具 実習：短対立装具（仮合わせ、金属切り出し、曲げ加工）	
第 33-36 回	実習：長対立装具（曲げ加工、仮合わせ）	6 月 20 日 小テスト
第 37-40 回	講義：伸展補助装具、屈筋腱縫合後に対するスプリント セミナー：⑤上肢の骨折と装具、⑥手指の腱損傷と上肢装具 実習：虫様筋バー（金属切り出し、曲げ加工）	
第 41-44 回	講義：関節リウマチのスプリント 実習：虫様筋バー（曲げ加工、仮合わせ）	

第 45-48 回	講義：把持装具 セミナー：⑦肘・肩関節の疾患・損傷と装具、⑧手指の疾患・損傷と上肢装具 実習：伸展補助装置（曲げ加工）	
第 49-52 回	講義：肘装具、肩装具 実習：伸展補助装置（曲げ加工、指カフ製作）	
第 53-56 回	講義：上肢の骨折用装具 実習：伸展補助装置（仕上げ、評価）	8月1日 最終テスト
第 57-60 回	スプリント製作（手外科領域）	

■ 評価方法

本科目の評価は、「小テスト」、「セミナー発表」、「最終試験」、「製作実習」を総合して行う。

【評価配分】

小テスト	セミナー発表	最終試験	製作実習	合計
10%	20%	40%	30%	100%

■ 教科書

装具学 第4版、医歯薬出版
義肢装具のチェックポイント 第9版、医学書院
手のスプリントのすべて 第4版、三輪書店
手の運動を学ぶ、三輪書店

■ 留意事項・その他

<担当科目における教員の実務経験>

那須祐介：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に6年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として1年間勤務。

吉岡久恵：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に9年間従事。その後、教員（常勤・非常勤含め）として17年、本学院義肢装具学科の専任教員として3年間勤務。

高嶋孝倫：外部講師。義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に従事後、本学院義肢装具学科の専任教員として23年、大学教員として9年間教育に従事。

田口真哉：外部講師。社会医療法人抱生会丸の内病院上肢外科センター リハビリテーション部 作業療法士